

広報
まつのやま



「よし！後はまかせろ」トップでタスキを渡す松里Aチーム

(10月10日 町駅伝大会 堺松中継点)

1988 11月号 (No.153)

11月1日現在 □総人口 4,041人(-4) □男 1,976人(-2) □女 2,065人(-2) □世帯数 1,204戸(-1)
()内は10月1日との比較

芸能祭 芸能部門も大空にぎやかでした



第7回 農業祭

雨にもかかわらず

大勢の人出でにぎわう

今年で第七回目を迎えた「町農業・芸能祭」が、十月二十九日から三十日にかけて開催され、アラレ交じりの冷たい雨が降るあいにくの天候でしたが、例年のように大勢の人出でにぎわいました。

午前九時からの開会だったので、人気のある野菜類の展示即売場には時間前から沢山の人が出て、お目当の野菜を買い求める姿が見えま

した。センターの中では「伝えていきたい・わが家の味と香り展」。町内の芸術家の皆さんが作品を出品しての「町展」。食生活推進員の皆さんが「カボチャのみたらしダンゴ」と「ジャガイモのダンゴ汁」を作ったの試食コーナーなどが設けられていて、女性層を中心ににぎわいを見せていました。「町展」会場の一角には、町青年団の皆さんがこの秋から初めての試みとして企画し

た。町内フット一息コンテストの写真が展示され、見に来ていただいた方々から審査してもらっていました。

また、冷たい雨が降り続くセンター前の広場では、良質米共励会の稲の展示やポン菓子作り、小型除雪機の展示即売が行われたほか、前日に審査が終了した「錦鯉」も展示され、皆さんの目を惹きつけていました。

町民体育館では九時から「第八回芸能祭」が開催され、踊り・民謡・劇や歌舞伎など午後四時半過ぎまで熱演が続きました。この芸能祭の途中では「良質米多収穫表彰及び、文化協会表彰」も行われ、良質米の方では、異状なほど天候に恵まれない中であって、十アール当り七百二十三キロ（新潟早生）の収量をあげた相沢一郎さん（松之山）をはじめ、収量の部で六名、米代金の部で二十五名の方が表

彰を受けられたほか、文化表彰の方では先頃行われた「郡展」の人賞者を中心に、町文化発展の功労者の方々が表彰を受けられました。

コシヒカリのオニギリ・モチ・手打ちそばの無料試食コーナーも人気があり、最悪の天気にもかかわらず去年並みに用意した品物がほぼ全部無くなり、前日からお手伝いをしてくれた役員のお母さん方を喜ばせたようです。寒い中、本当にご苦労さまでした。



良質米多収穫共励会 出品作品の展示場

今回初めて行われた写真コンテスト 好評でした。



青年団コーナー

第5回

良質米安定多収穫共励会

最優秀賞

「米収量の部」相沢一郎さん(松之山)

「米代金の部」渡辺喜久治さん(東山)

▷米収量の部

入賞区分	出品者		品 種	10a当たり 精玄米収量
	住 所	氏 名		
最優秀賞	松之山	相沢 一郎	新潟早生	723kg
優秀賞	坪野	佐藤 ミヨ	新潟早生	721
優良賞	東川	丸山 嘉幸	〃	695
〃	湯本	高橋 信一	アキヒカリ	686
〃	藤倉	若月三太郎	新潟早生	673
〃	水梨	中島 徹	越みのり	657

▷米代金の部

入賞区分	出品者		品 種	10a当たり 米代金
	住 所	氏 名		
最優秀賞	東山	渡辺喜久治	コシヒカリ	275,262円
優秀賞	中尾	高橋 保	〃	265,052
〃	東川	小野塚文雄	〃	263,089
〃	上川手	村山 邦一	〃	258,770
優良賞	五十子平	涌井 正二	〃	252,879
〃	湯山	樋口 健一	〃	250,131
〃	藤倉	丸山 明	〃	247,382
〃	湯之島	山口 孝治	〃	241,492
〃	兔口	樋口 藤夫	〃	241,099
〃	天水越	佐藤 久夫	〃	239,921
〃	上之山	畔上 達雄	〃	239,921
〃	下鰯池	大見 文雄	〃	237,958
〃	黒倉	山口 長一	〃	237,173
〃	湯山	樋口 清一	〃	236,780
〃	小谷	和久井豊治	〃	236,780
〃	赤倉	村山 里志	〃	235,995

- ▽総合優勝(敬称略)
「紅白」 竹内 清司
- ▽総合準優勝
「紅白」 高橋平八郎
- ▽ジャンボ賞
「紅白」 樋口 ヨシ
- ▽一部(十八センチ未満)
優勝 「紅白」 村山 政栄
一等 「三色」 樋口 幸雄
〃 「その他」 山岸敬三郎
- ▽二部(二八センチ未満)
優勝 「三色」 畔上 勝治
一等 「紅白」 丸山 定一
- ▽三部(三五センチ未満)
優勝 「紅白」 樋口 幸雄

- ▽四部(四五センチ未満)
優勝 「紅白」 樋口 幸雄
一等 「三色」 畔上 勝治
〃 「その他」 山岸敬三郎
- ▽五部(四五センチ未満)
優勝 「銀鱈紅白」 山岸敬三郎
一等 「紅白」 高波 和平
〃 「三色」 久保田寿栄

- ▽入選
佐藤 正徳さん(天水越)
福原 富弥さん(松之山)
佐藤 強さん(天水越)
- ▽優秀賞
相沢 秋男さん(小谷)
「ノカ燃やし」
- ▽秋の撮影場所
関谷 敏明さん(黒倉)
- ▽最優秀賞
重野 一男さん(下鰯池)
「秋の空」
- ▽優秀賞
関谷 敏明さん(黒倉)

第20回 錦鯉品評会

今年で二〇回目を数える松之山町錦鯉品評会が、二十九日(土)に開催され、町内の養鯉家十五人の皆さんが大切に育てた百五匹が出品されました。

泳ぐ宝石と呼ばれるこの錦鯉、色や形、大きさなどで審査されましたが、どの鯉も素晴らしい美し見えしました。各部門の入賞者は次の方々です。

「伝えていきたい わが家の味と香り」

四十五点の出品料理の中で次の五点に、町長より奨励賞が贈られました。

第1回 フォット一息 写真コンテスト

「秋の松之山」をテーマとした写真コンテストには三十八点の応募があり、一般の方三百四十二名から審査していただいた結果、次の方々の作品が入賞となりましたので紹介します。なお、青年団では、これからも「冬」「春」「夏」と四季の松之山をテーマに写真コンテストを行いますので、皆さんで参加してください。

またまた松里Aチームが優勝

第七回 町駅伝大会

今年で第七回目を迎えた、松之山町駅伝大会が十月十日の体育の日に開催され、各地区から八チームが出場して健脚を競いあいました。

この大会の焦点の一つに、第一回大会から六連勝を続けている松里チームが破れるかどうかという点がありました。が、終ってみるとやはり強く、

松里Aチームが七連覇を達成し、トップの座を守りました。昨年と同じコース(浦田中学校前より自然休養村センターまでの十二区間)を使って行われたこの駅伝、昨年は松里チームが終始トップを維持しての優勝でしたが、今回はトップが目まぐるしく入れ替わるレース展開となり、最後まで優勝の行く方が

わからない、非常に接戦の大会でした。松里・三省・松里と前半から中盤トップ争いを演じた。九区(高校男子)で、松之山Aチームの村山君が、自己の持つ区間記録をも破る快走で初めてトップに立ち、そのまま逃げきりかと思われました

が、十一区(高校女子)で再び松里Aが逆転、二位に一分二秒の差をつけ、トップでゴールインしました。二位には松之山A、以下、三位浦田A・四位三省・五位布川となり、各地区のエースチームが上位を占めた事になります。

区間新記録も九区と十二区の二区間で生まれましたが、いずれも今まで自分で作った記録を更新したもので、努力の成果が出たものと思います。駅伝大会終了後に行われた「第五回町民健康マラソン」には、幼稚園児から一般の方までの三九六名が参加、かつてないにぎやかな大会となりました。

今まで二回に分けてスタートさせていたものを三回にするなど、回を重ねることに増える参加者に運営面でも、工夫が必要になって来たよう

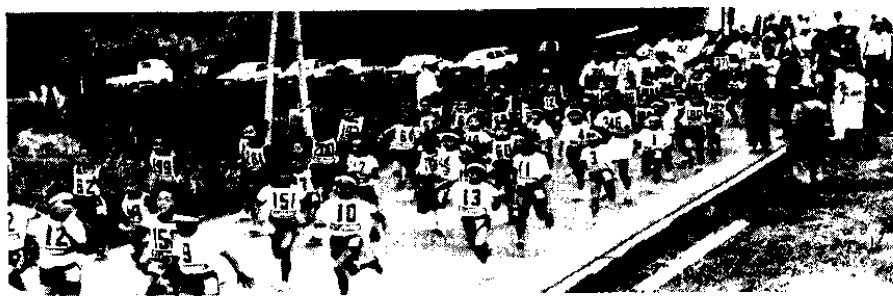
です。巳之下線を使った二キロのコースを、チビツ子から大人まで一生けん命走って、体育の日にいい汗をかいていたようです。この次の大会には、一般の方々からもっと参加していただきたいと思えます。



浦田中学校前を第1走者がスタート!

浦田中学校前を第1走者がスタート!

浦田中学校前を第1走者がスタート!



396人が参加した健康マラソン

第七回駅伝大会成績

▽総合成績

順位	チーム名	時間	分	秒
1位	松里A	1	18	04
2位	松之山A	1	19	25
3位	浦田中	1	19	41
4位	三省	1	22	41
5位	布川	1	23	01
6位	松里B	1	24	03
7位	浦田B	1	24	23
8位	松之山B	1	25	50

▽区間優勝者

区間	優勝者	時間	分	秒
1区	高橋重幸(松里A)	7	23	
3区	中島健男(三省)	7	35	
3区	福原 賢(〃)	6	31	
4区	高橋政信(松里A)	7	02	
5区	志賀恵美(松之山A)	3	58	
〃	滝沢由美(松里A)	3	58	
6区	山口麻由巳(浦田A)	5	13	
7区	本山久(〃)	2	53	
8区	高橋剛士(松里A)	5	40	
9区	村山真男(松之山A)	7	11	
10区	高橋 弘(松里A)	6	58	
11区	高橋美代子(〃)	5	04	
12区	村山幸夫(布川)	8	27	

(太字 区間新記録)

国民健康保険

出稼ぎに行かれる方は、異動
手続きを忘れずにお願ひします。

社会保険に加入したら
証明書を送って下さい

知ってますか？
もう一枚の保険証

世帯主は、自分の世帯にいる家族で保険加入者に異動があった時（転出・出稼ぎで職場の保険に入ったとき、子供が生まれたり亡くなったときなど）は、必ず十四日以内に届出をしなければなりません。出稼ぎで社会保険等職場の健康保険に加入する人は、出稼ぎに出る前に役場国保係から社会保険加入証明書用紙をもらい、会社から証明を受けてから役場へ送って下さい。

保険証は、一世帯に一枚が原則ですが、出稼ぎ、長期の旅行、修学のため他の市町村に住むというような場合は、一世帯一枚の保険証では間に合いません。こういう場合、特にもう一枚の保険証を受けることが出来ます。

出稼ぎで社会保険に加入されずと、世帯主や扶養者のある方は、その家族も一緒に被扶養者として社会保険に入ります。あなたの保険証のほかに家族の方に「遠隔地被保険者証」を受け、家族の方に送ってあげてください。

社会保険に加入しない方には、国保で特にもう一枚の保険証を交付しますので国保係へ相談ください。

医療機関に提示・連絡を

医療機関で医療を受ける際は、必ず保険証を医療機関の受付窓口で提示することに なっています。保険証が変更した場合は（国保↓社保・社保↓国保）は、必ず医療機関に早めに連絡して下さい。

老人保健については、保険証と医療受給者証を、いっしょに提示して下さい。

提示又は連絡をしなかった場合は、医療費の全額が自己負担に、なることがありますのでご注意ください。

国保は私たちの大切な制度です



糖尿病を侮るな

全国糖尿病週間
11月7日～13日

糖尿病は、すでに古代エジプト時代に「多尿」を特徴とする病気として知られていました。

すい臓でつくられるインスリンは、糖尿病と深い関わりのあるホルモンで、血液中のブドウ糖を体内で有効なエネルギーに変える働きの一端を担っています。

ところが、インスリンの分泌が不足すると、血液中のブドウ糖は有効なエネルギーとして体内で利用されなくなり、余分なブドウ糖は尿の中にあふれ出るようになります。

糖尿病は、インスリンの発見のおかげで進行に歯止めがかけられるようになり、さらに現在では食事療法や運動療

法により、治療が出来るようになりました。

しかし、患者は年々増える一方で、全国で二百五十万人もいるといわれています。

このような背景には、栄養過多や運動不足、肥満、不規則な生活やストレスなどがあると指摘されます。

糖尿病で一番怖いのは、病気を放置して進行した場合の合併症です。腎不全や失明、心臓病や脳血管障害、神経障害や足の壊疽などがあり、死に至ることも少なくありません。

そこで、もう一度日常生活を振り返って健康チェックを試してみましょう。糖尿病の特徴である空腹感やだるさ、口の渇き、多飲・多尿などの自覚症状はありませんか。

自分からすすんで検診を受けるようにしましょう。



第7回

東頸城郡美術展覧会

松之山町から入選者が多数誕生

今回で第七回目を迎えた「東頸城郡美術展」が、十月二十二日から二十四日までの三日間、松之山町民体育館で開催されました。

松之山町で第一回郡展が開かれてから郡内各町村を一巡し、二巡目に入った事になるこの「郡展」、年々出品展数も増え、また、作品のレベルも一段と向上しているようです。

第七回郡展には絵画七十二点、書道十八点、写真六十八点、彫塑・工芸十七点と、四

部門に百七十五点の出品があり、各部門ごとに郡展賞一点、奨励賞三点、審査員特別賞一点が選ばれ、二十三日に表彰式が行われました。

松之山からは四部門に郡内で一番多い九十四点の出品があり、残念ながら郡展賞は取れなかったものの、奨励賞を取った八名の方が、また審査員特別賞を一名の方が受賞されました。

奨励賞を受けられた方は、絵画部門で草村慶子さん(湯山)、山口清治さん(湯之島)、

高沢利一さん(北浦田)が。書道部門で本山勉さん(北浦田)、本山一夫さん(田麦立)、小野塚喜美子さん(松之山)が。写真部門で小口成一さん(松之山)、小見重義さん(黒倉)が。また、審査員特別賞には彫塑・工芸部門の丸山寅吉さん(小谷)が受賞されました。各受賞者の皆さん、おめでとうございます。

この郡展に出品された作品は、十月二十九日から三十一日まで開催された「町展」にも出品されました。

「町展」にも出品されました。

各部門受賞者

▽絵画

郡展賞 井上昭子 (牧村)

奨励賞 草村慶子 (松之山町)

山口清治 (〃)

高沢利一 (〃)

特別賞 横山 嵩 (浦川原村)

▽彫塑・工芸

郡展賞 大滝健治 (浦川原村)

奨励賞 武田大助 (大島村)

横山 嵩 (浦川原村)

〃 襄利 章 (〃)

特別賞 丸山寅吉 (松之山町)

▽書道

郡展賞 高沢優美子 (松代町)

奨励賞 本山 勉 (松之山町)

〃 本山一夫 (〃)

〃 小野塚喜美子 (〃)

特別賞 西潟平司 (松代町)

▽写真

郡展賞 五十嵐修 (牧村)

奨励賞 小口成一 (松之山町)

〃 小見重義 (〃)

〃 瀬沼伸彦 (松代町)

特別賞 塩崎直二 (浦川原村)



彫塑・工芸部門
審査員特別賞
「舞子」
丸山寅吉さん
(小谷)



▲絵画部門 奨励賞
「初夏」
草村慶子さん (湯山)

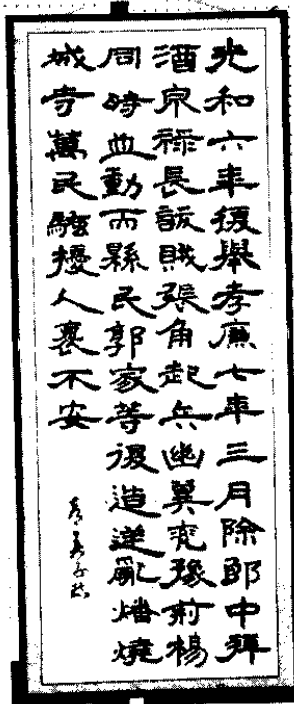
⑦ まつのやま



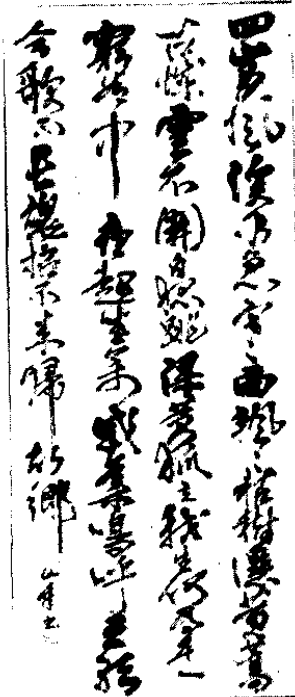
絵画部門 (版画) 奨励賞
「故郷山川」
高沢利一さん (北浦田)



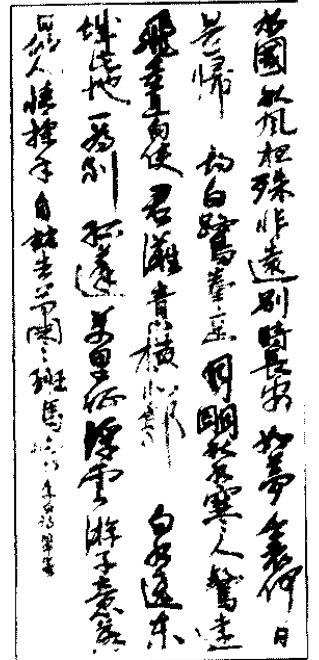
▲絵画部門 奨励賞 「冬山のからまつ」
山口清治さん (湯之島)



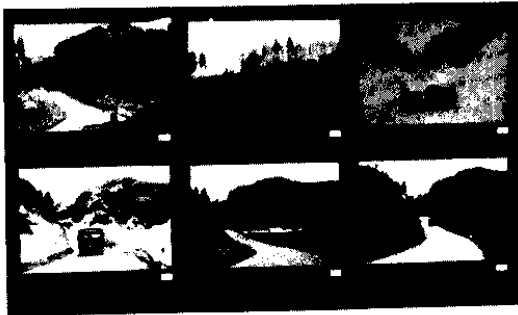
書道部門 奨励賞
「曹全碑」小野塚喜美子さん (松之山)



▲書道部門 奨励賞
「杜甫詩」
本山一夫さん (田麦立)



▲書道部門 奨励賞
「古風其十(季白詩)」
本山勉さん (北浦田)



▲写真部門 奨励賞
「松代・松之山線四季」小口成一さん (松之山)



▲写真部門 奨励賞
「樞」(ブナ) 小見重義さん (黒倉)

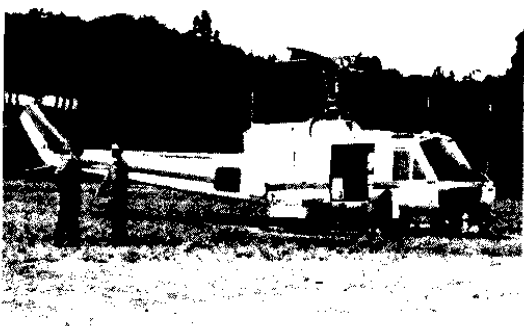
フォトニュース 10月

ヘリコプターで温泉を見つけると！

町ではこれから訪れようとする高齢化社会に対する福祉面と、リゾート時代に対応していくための新しい資源開発に取り組んでいこうとしています。この一歩として温泉探しに着手しました。

この調査は、町内二カ所(湯山から鬼口の一帯と、大蔵寺から浦田の一部)を、ヘリコプターにより空中から探査するという方法で行われ、十月二日・三日の二日間調査が実施されました。今後この調査資料の細かい分析が行われ、来年の三月末頃に結果が出る予定です。

有力な温泉脈が発見される事を期待したいものです。



このヘリコプターで温泉探査。町民グラウンドを発着に利用して調査しました。

2 大蔵寺高原でキノコ狩り。二五〇人参加

松之山町観光協会では、毎年十月にキノコ狩りツアーを企画して誘客に努めています。今年も大蔵寺高原を会場に、十月九日と十六日の二回開催されました。

このキノコ狩りに参加された方は延二五〇人に達し、大変な盛況ぶりでした。

参加された皆さんは受付を済ませると、早速山に入って午前中キノコ狩りを楽しみ、取って来たキノコを早川幸一先生と滝沢博さんに鑑定してもらっていました。

この二回のキノコ狩りで取れたキノコの種類は、食用・菌・無毒のもの合計で一一五程に達し、その種類の多さに驚かされます。しかし、この中で毒キノコは二三種しかなく、食用の方がずっと多いそうです。また、面白いキノコ(珍しい)に、のぼりのめづくららっぱだけ、へちだけ、ずさんたけなどがありました。

鑑定後はキノコ汁で昼食を食べたり、先生よりキノコ講習を受けたりして、楽しい一日を過ごしていました。



キノコ狩りも国際的に。カナダの人も初参加



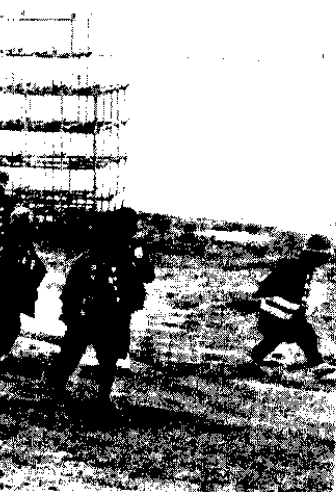
「これは珍しいキノコを取って来ましたね」鑑定してくれた滝沢博さん。



ぼくらは幼年消防隊
みんなでピースノ

十月二十六日から一週間、秋の防火週間が行われましたが、この期間中、市内の四つの保育所の園児たちは幼年消防隊のハッピを着て通園し、火災予防運動に一役かつてくれました。

ちもその隊員で、日頃から避難訓練や消火器の使い方を習ったり、火の怖さを勉強したりしています。



一週間 火の用心のハッピを着て元気に通園

4 「みんな火事に気をつけてね」ハッピ姿がカッコイイ!

3 坂口安吾祭 文学記念碑の前でにぎやかに

松之山ゆかりの文豪「坂口安吾」の生誕を記念しての、第一回坂口安吾祭が十月二十日、昨年建立された文学記念碑前で安吾ファン七十名程が参加して開催されました。

この安吾祭は、坂口安吾の甥にあたり、また、文学記念碑保存会長でもある村山町長の呼び掛けにより行われたもので、新潟市からも「安吾の会」の会員十七名が駆けつけてくれました。



村山町長が開会のあいさつ
(記念碑保存会長)



記念碑を囲んでの記念講演会 講師 相馬正一先生

町史編さん
だより No.17

町のあゆみは 四千五百年前から

縄目の文様をつけた素焼の土器をつくり、狩猟、採集の生活をしてきた一万年から二千三百年ほど前の時代を縄文時代といいます。

この頃の人びとが使用した土器・石器を遺物、地面に残した跡を遺構といいます。

町内には、三桶字深田、橋詰字居村・湯山字中江・小各字居村。同深林・黒倉字二ツ沢・浦田字西之前などに遺物が見つかっています。

いままでに、一番古い土器が見つかったのは、湯山の中江遺跡で、鶏のとさかに似た把手をつけた鉢形の土器でした。いまからおよそ四千五百年ほど前のもので、その頃の気候は、いまとほとんど変わらなかったと云われています。

四千年ほど前になりますと、深田・橋詰居村・深林・小谷・居村・黒倉の十文字などにも人びとが生活の跡を残してい

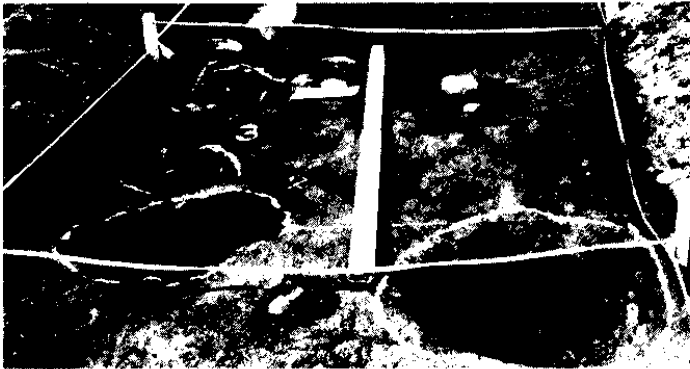
ます。もちろん中江にもこの頃の生活の跡があります。

三千五百年ほど前になりますと、深田・橋詰居村・黒倉の十文字などにも、人びとが生活をしましたが、気温が少しさがり、生活環境が悪くなり、生活の跡が少なくなりま

した。二千五百年ほど前に用いた土器が西之前で見つかっています。

八月下旬、町内の中学生が深田の段丘上で発掘調査に汗を流しました。

深田遺跡は、標高約二四七呎余



深田遺跡における食糧を貯蔵した穴

の丘の上に、約千二百平方呎に広がる遺跡で、現在ラツキョウ畑となっています。

下の写真のように、平坦な日当りのよいところで、遺跡の北側には越道川が流れ、東側は山につづきます。川で魚を採り、上の写真の貯蔵庫の穴に、食糧を貯

蔵したりして長い冬を迎えたのでしょうか。当時、綱の錘に使ったと思われる石錘や、石のやじりや、くるみや、などを割るに用いた凹



出土した土器の破片（深田遺跡）

石、枋の実などを磨りつぶしたと考えられる磨石などが発見されました。中段の写真のように、いろいろな文様をつけた土器も発見しました。これは、信濃川流域に広く分布している遺跡から発見された土器の文様とほとんどおなじです。（文責 秦 繁治）



中学生が夏休みを返上して発掘に協力してくれました。（深田遺跡）

地元に進出して五周年

川岸縫製有限会社

町に対して五万円を寄贈

栃木県に本社を持つ川岸縫製有限会社（川岸貞社長）が、三省工業団地へ松之山工場を造ってから五年が過ぎ、この程、その五周年記念式典がにぎやかに行われました。

女性用下着の高級ブランド品を製造しているこの会社には、現在工場長の男性ほか十一名の地元の女性が働いており、まだまだ従業員がほしいほど忙がしい状態だということです。

川岸縫製会社では五周年記念として、松之山町に対し五万円を寄付されました。町ではこれを受けて「蒙書基金」の一部として利用させていただく事になりました。

川岸縫製では働いてくれる女性を探しているそうです。希望のある方は工場の方へ出掛けてみてください。



女性だけの明るい職場

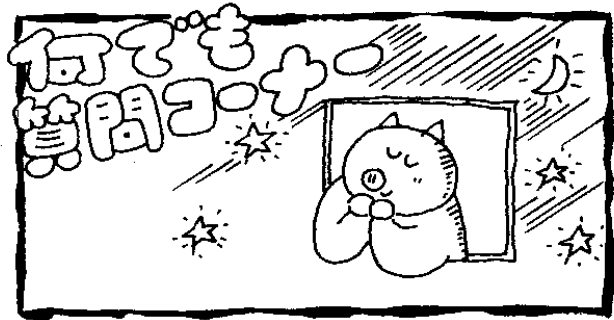
税の豆知識

調 整 年 末

サラリーマンの所得税は、毎月の給料やボーナスから源泉徴収されています。しかし、毎月源泉徴収された所得税の年間合計額と、その年の給与総額に対する税金（年税額）とは、次の理由などにより必ずしも一致しません。

- 一、結婚や出産、就職などで扶養親族の人数が変わると、扶養控除等の金額が変わるため。
 - 二、生命・損害保険料の控除や配偶者特別控除などは、毎月の源泉徴収では考慮されないため。
 - 三、「給与所得の源泉徴収税額表」は、毎月の給与等の額が変わらないものとしているため。
 - 四、特に本年は「六三分の所得税の臨時特例法」が施行され、税負担の軽減が行われたため。
- これらの理由により、毎月源泉徴収された所得税の年間累計額と給与総額に対する年税額には過不足が生じます。この過不足を、その年の最後の給料やボーナスが支払われる時に精算することを「年末調整」といいます。
- この「年末調整」により、納め過ぎの場合には還付され納め足りない場合には徴収されることとなります。ただし、給与の収入金額が一五〇〇万円を超える人
- 二、給与所得及び退職所得以外の所得が一〇万円を超える人
 - 三、災害による源泉所得税の徴収猶予や還付を受けている人
- などは、確定申告をする必要があります。詳しくは税務署、役場税務係にお尋ねください。





このコーナーでは皆さんからの質問・意見・要望等を広く募集しています。担当者が責任をもって回答させていただきますので、どんな事でも結構ですからお寄せください。お待ちしております。

つい先日、父親が亡くなりましたので相続登記をしなければならぬ事を人から聞きました。どの様な手続きをすれば良いのか教えてください。

(小谷 相沢)

お答えします。相続は父親の死亡により開始されます。

相続の開始により、父親の財産に属した一切の権利義務を、相続人が継承することになります。

相続人とは、死亡者の配偶者(母親)と子供全員ですが、この方たちの相談により相続方法を決めるのが良いと思います。

死亡を知った日から三ヶ月

以内に、家庭裁判所へ相続放棄の申述を行うのが一般的です。

その他にも、相続人全員の共同相続・遺産分割・特別受益者・相続人譲渡等の方法もありますので、手続き方法については司法書士(代書人)に相談されることを、お奨めします。

相続登記は、相続手続きが済んだ後に行うこととなります。住民課 住民係

今、固定資産税のうち農地について現況課税にする為、役場から各人の地目別明細が配布されましたが、その中に公衆用道路となつて個人の名義になつているものがありますが、今迄税金は納めていたのでしょうか。又、今後どのような手続きをすれば良いのでしょうか。

(浦田 本山)

お答えします。個人所有の公衆用道路には、おおよそ次の二つが考えられます。

◎部落道

部落道などの目的で道路を開設・あるいは拡幅し、分筆・地目変更の登記を済ませて、代表者の名義で所有権の移転の登記をした土地……あるいはしなかつた土地。

◎国県町道

部落道などの目的で開設し、その後町・県道に移管された土地。

皆さんにお配りしてあります「土地リスト」中、現況地目が公衆用道路となっているものは、固定資産税は非課税です。また、「部落道」あるいは部落道として開設し、現在は国・県・町に移管された「国県町道」の敷地で、地目が公衆用道路となっていない土地は、登記簿上の地目で課税してあります。

個人所有の公衆用道路については、これでおわかりいただけたかと思えます。

このような土地について今後どうしたら良いかと言いますと、まず各部落に配つてある

更正図で道路となっている地番を拾い出してください。

◎部落道敷地

各々の部落でどうしたら良いか決めてください。

◎国県町道

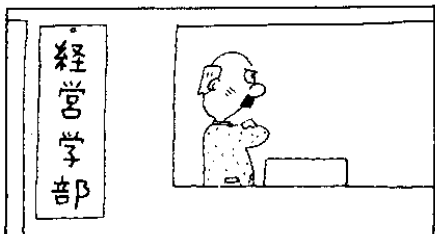
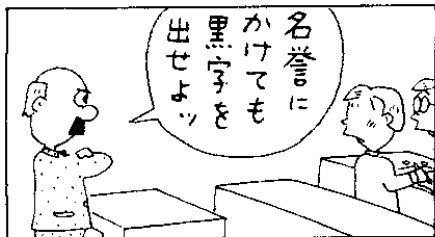
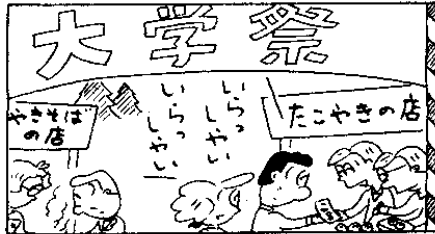
国・県・町道のいずれも、それぞれの部落で道路ごとにまとめて、町へ寄附の申請をしていただければ寄附採納の手続きをして、それぞれの所有権移転の登記を行います。寄附採納の手続きは簡単に済みます。なお、どうしても寄附採納し……という訳ではありませんが、国県町道の敷地を所有していても何の利益にもなりませんし、たとえ公衆用道路であっても相続・売買登記などの際には、登録免許税の対象にもなります。

ちょうど良い機会でもありますし、この際、寄附採納をお勧めします。また、固定資産税農地現況課税の実施にあたって、納税者の皆さんには多大な労力をおかけする事になりますが、よろしく願います。

総務課 税務係

さわやか君

西村 宗



交通違反激増 注意!

今年の県内における交通事故件数は昨年を大幅に上回る伸びをみせており、県警では警戒を強めています。

最近、町内でも事故・交通違反者の数が増加しているようです。

これから忘年会・会合等、飲酒の機会がたくさんあると思います。絶対お酒を飲んでバイク・車などの運転をしないように注意してください。

飲ませる方にも同じ責任が問われます。

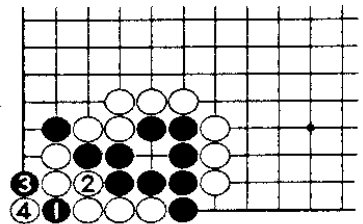
夕暮れ時の事故防止とともに、交通三悪の追放に努めましょう。

訂正・お詫び

広報10月号の中で新しい町選挙管理委員の皆さんを紹介しましたが、その中で久保田和夫さん(天水越)は、(天水島)の誤りでした。

また、決算の説明の中で町債の62年度末現在高は、37億3,579万4千円となっていたのは、27億3,579万4千円の誤りでしたので訂正します。

詰碁10月号の解答

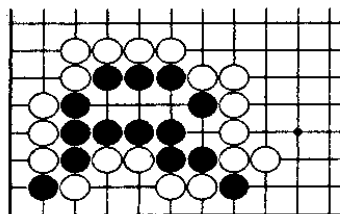


正解者

- 南雲 晴夫さん (西之前)
- 村山 伸さん (湯本)
- 若井千代松さん (小谷)
- 久保田光栄さん (天水島)

有段を目指して

11月号 出題



黒先生き (3手まで)
ダメツマリ

詰碁の回答を募集しています。今回の応募期限は十一月二十五日(金)までとします。正解者には粗品を進呈。(役場議会事務局まで)

戸籍の窓

おめでとう (出生)

正知ちゃん 小林 哲さんの長男 (松之山)
雅子ちゃん 高橋忠一さんの長女 (湯本)

おくやみ (死亡)

高沢キミ子さん 65歳 (大荒戸) 向
大見義一郎さん 70歳 (上鰐池) うしろ
村山重一郎さん 78歳 (松之山) 角田屋
※10月1日から31日までの届出分です。

ぼくの絵 わたしの絵 布川保育所 年中組



大蔵寺牧場ですべり台にのっている所



すべり台にのっている所



おのづかよしみさん



たかはしかなさん



布川保育園のひょうきん族?

- 18日 坂口安吾生誕記念祭
- 17日 行政相談(休養村センター)
- 11日 部落総代会
- 10日 第7回町駅伝大会
- 9日 施・大蔵寺高原
- 1日 農業委員会総会

10月のできごと

- 22日 第7回東頸城郡美術展(体育館24日まで)
- 26日 農業所得調査員会議
- 29日 錦鯉品評会
- 30日 町美術展(センター)
- 31日 農業祭・芸能祭
- 7日 農業委員会総会
- 7日 町定資産評価審査委員会
- 13日 松之山町ビンボン大会
- 20日 青年バレーボール大会(6人制)

夕暮れ時の交通事故防止

気をつけて 夕暮れ 雨の日 夜の道

秋の深まりとともに日没が早まり、天候も不順となる事から、例年、歩行者・自転車利用者を中心とした交通事故が多発しているの、運転者はもちろん、歩行者も十分注意し、夕暮れ時の事故防止に努めましょう。

◎ 事故防止運動の重点として

- 1、ライトの早期点灯
- 2、高齢歩行者、自転車利用者の交通事故防止
- 3、若者の車・バイクの無謀運転の追放

編集後記

秋もすっかり深まりを見せ、日一日と寒さが増すように感じられる季節になりました。十月十二日、松之山の高い山々は早くも初冠雪を記録し、気象庁ではありませんが、今年は大雪を覚悟しなくてはならないようです。また、今年にはミヨウガに赤い花のような実がついたという話も沢山聞きます。確か五十八年の秋もいっぱいついたとか……何か雪と関係あるのでしょうか？十月はスポーツ・文化・農業と、色々な行事が沢山ありました。これから出稼ぎに出られる皆さん、身体を大切に働いて来てください。



広報まつのやま63年11月号 □毎月1回10日発行 □発行/松之山町(6)3131 □編集/議会事務局